

第1章

アンケート調査概要

第1章

アンケート調査概要

1 調査の目的

宮崎県における男女共同参画に関する意識と実態を統計的に把握し、今後の男女共同参画施策の一層の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の設計と内容

- ① 調査地域：宮崎県全域
- ② 調査対象：宮崎県在住の20歳以上の男女3,000人（男女各1,500人）
- ③ 抽出方法：無作為抽出
- ④ 調査方法：郵送配付・郵送回収・督促状1回
- ⑤ 調査時期：平成17年9月
- ⑥ 調査内容：男女平等、家庭生活、地域社会、就業、政策の企画・方針決定、女性の人権、男女共同参画社会づくり 等
- ⑦ 回収状況：

・ 標本数	3,000
・ 回収数（回収率）	1,114（37.1%）
・ 有効回収数（有効回収率）	1,096（36.5%）

3 調査項目一覧

分類	問	調査項目	比較分析	
			前回	全国
属性	F	基本属性（性別・年齢・未婚・家族構成・居住地）		
1 男女 平等意識	(1)	男女の平等感	①	①
	(2)	男女平等になるために重要なこと ①女性について ②男性について	②	②
	(3)	男女の役割分担意識についての考え方	③	③
2 家庭 生活及び 結婚・家 庭観	(4)	家庭生活での夫婦の役割分担状況	④	
	(5)	理想とする家庭生活での夫婦の役割分担	⑤	
	(6)	結婚・家庭観		⑥
	(7)	女性と男性の望ましい生き方 ①女性について ②男性について	⑦	⑦
	(8)	仕事と家庭生活のバランスの現状		⑧
	(9)	仕事と家庭の両立のために必要なこと ①女性について ②男性について		
3 地域社会に おける慣習等	(10)	地域社会での実態	⑨	
4 就業	(11)	職業について	⑩	
	(12)	仕事に就いている理由	⑪	
	(13-1)	仕事に就く意志	⑫	
	(13-2)	仕事に就いていない理由	⑬	
	(14)	共働きの実態	⑭	
	(15)	就業についての意識 ①女性について ②男性について	⑮	⑮
5 政策 決定への 参画	(16)	政策の企画・方針決定に関する意識	⑯	
	(17)	女性の社会進出のために必要な措置		⑰
	(18)	女性のチャレンジ支援のために必要な取り組み		
6 人権 への配慮	(19)	女性の人権についての意識	⑱	
	(20)	配偶者等からの暴力に対する意識	⑲	⑲
	(21)	配偶者等からの暴力を受けた経験	⑳	
	(22)	配偶者等からの暴力を受けた時の相談先	㉑	㉑
	(23)	配偶者等から暴力を受けたときに相談しなかった理由	㉒	㉒
	(24)	配偶者等に対して暴力を行った経験		
	(25)	配偶者等に対して暴力を行った時の相談の有無		
	(26)	配偶者等に対して暴力を行った時の相談先		
	(27)	配偶者等に対して暴力を行った時に相談しなかった理由		
	(28)	メディアにおける性・暴力表現についての意識	㉓	
	(29)	女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために必要なこと		
7 男女 共同参画 センター	(30)	男女共同参画センターの認知度	㉔	
	(31)	男女共同参画センターの利用の有無等	㉕	
	(32)	男女共同参画センターに期待すること	㉖	
8 男女 共同参画 施策	(33)	男女共同参画に関する言葉の認知状況	㉗	
	(34)	男女共同参画社会づくりに関する言葉の情報源		
	(35)	県が推進すべき男女共同参画施策について	㉘	

4 報告書の見方

- ①調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問項目に該当する回答者総数、あるいは分類別の回答者数であり、その数はNで示している。
- ②百分率は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までを示した。よって、単一回答（答えが一つだけのもの）の回答比率の合計値は100.0%にならない場合がある。
- ③回答比率は、その設問の回答者総数、あるいは分類別の回答者数を基数として算出しており、複数回答（2つ以上の回答を認めたもの）の設問の場合には、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ④本文やグラフ・数表上の選択肢表記は場合によっては語句を簡略化してある。
- ⑤標本誤差SEは下式によって求められる。

今回は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が1,096人で、その設問中の選択肢の回答比率が50.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.0%であるというようにみる。

$$SE = 1.96 \times \sqrt{P(100-P) / n}$$

P：調査結果のパーセント
n：調査対象者数
SE：標本誤差

回答の比率（P） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総計（1,096）	±1.8	±2.4	±2.7	±2.9	±3.0
女性計（582）	±2.4	±3.2	±3.7	±4.0	±4.1
男性計（514）	±2.6	±3.5	±4.0	±4.2	±4.3

- ⑥調査結果の「平均」は、下記のような各選択肢を特点化する方式により算出しているものであり、「平均」の表示があるものは同様の処理を行っている。

「平均」の算出方法（(4)の場合）

主に妻が行っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・+2

主に妻が行い、夫が一部を分担している・・・・・・・・・・・・・・+1

夫と妻が同程度分担している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0

主に夫が行い、妻が一部を分担している・・・・・・・・・・・・・・-1

主に夫が行っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・-2

各選択肢に設定した得点と、それぞれに回答した人数を掛け合わせ、回答総数で割ったものが「平均」である。(4)では、平均が高いほど「妻が行っている」場合が多いことを示す。

5 他調査との比較について

県民意識調査の分析にあたり、他調査との比較を行っている。
使用した資料の出典は以下のとおりである。

前回調査：宮崎県「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」

対象：宮崎県在住の20歳以上の男女 合計3,000人（男女各1,500人）

調査方法：郵送配付・郵送回収法

調査時期：平成12年9月

回収状況：有効回収率47.2%

※比較分析 ①②③④⑤⑦⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘

内閣府調査「配偶者等からの暴力に関する調査」

対象：全国20歳以上の男女 4,500人

調査方法：郵送留置訪問回収法

調査時期：平成14年10月～11月

回収状況：有効回収率73.8%

※比較分析 ⑲㉑㉒

内閣府調査「男女共同参画社会に関する世論調査」

対象：全国20歳以上の男女 5,000人

調査方法：調査員による個別面接聴取

調査時期：平成16年11月～12月

回収状況：有効回収率70.0%

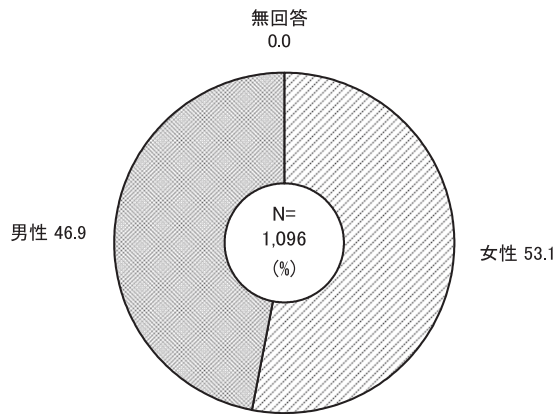
※比較分析 ①②③⑥⑦⑧⑮⑰

6 調査回答者の属性

(1) 性別

有効回答者数1,096件のうち、女性53.1%、男性46.9%の割合となっている。

図表 1-1 性別

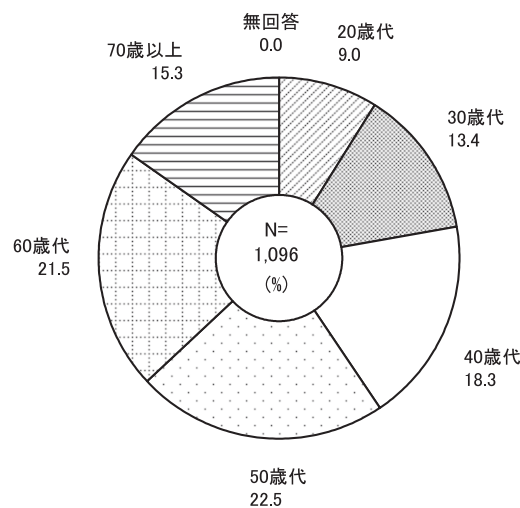


上段:度数 下段:%	合計	女性	男性	無回答
合計	1096	582	514	0
	100.0	53.1	46.9	0.0
20歳代	98	56	42	0
	100.0	57.1	42.9	0.0
30歳代	147	80	67	0
	100.0	54.4	45.6	0.0
40歳代	201	122	79	0
	100.0	60.7	39.3	0.0
50歳代	246	120	126	0
	100.0	48.8	51.2	0.0
60歳代	236	122	114	0
	100.0	51.7	48.3	0.0
70歳代以上	168	82	86	0
	100.0	48.8	51.2	0.0

(2) 年齢

もっとも回答が多かった年代は50歳代 (22.5%) となっており、次いで60歳代 (21.5%) となっている。

図表 1-2 年齢

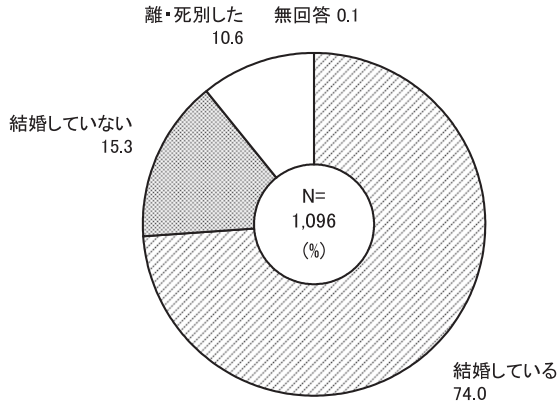


上段:度数 下段:%	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
合計	1096	98	147	201	246	236	168	0
	100.0	9.0	13.4	18.3	22.5	21.5	15.3	0.0
女性	582	56	80	122	120	122	82	0
	100.0	9.6	13.7	21.0	20.6	21.0	14.1	0.0
男性	514	42	67	79	126	114	86	0
	100.0	8.2	13.0	15.4	24.5	22.2	16.7	0.0

(3) 婚姻の有無

「結婚している（事実婚も含む）」者は、全体の74.0%を占める。

図表1-3 婚姻の有無



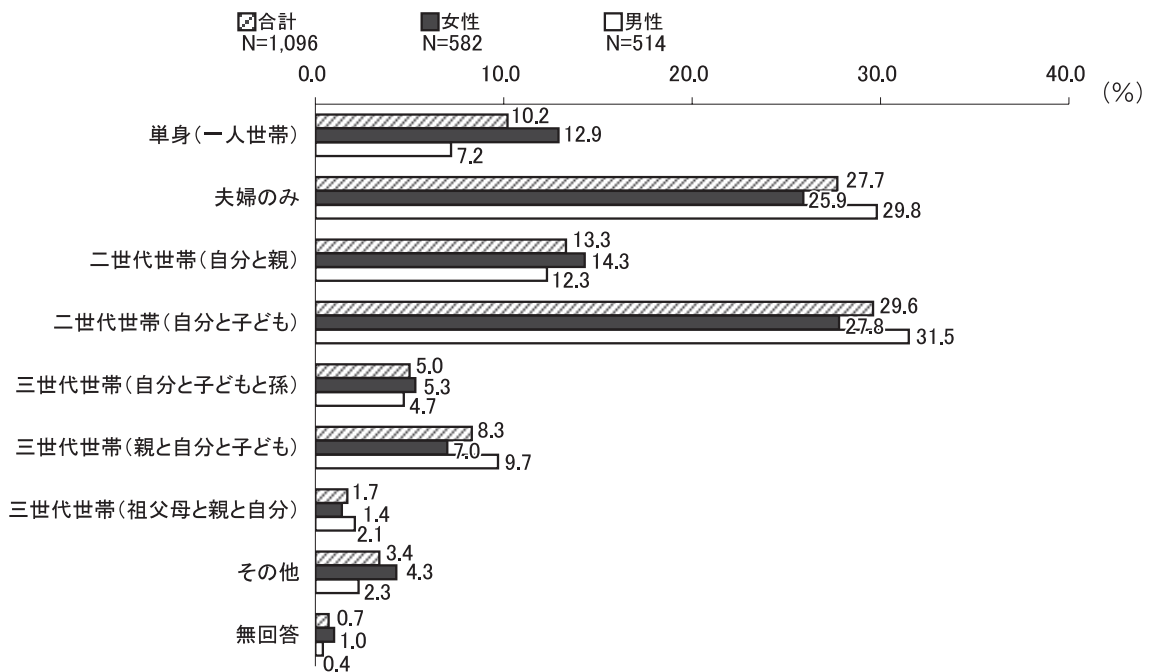
上段:度数 下段:%	合計	結婚して いる	結婚して いない	離・死別 した	無回答
合計	1096	811	168	116	1
	100.0	74.0	15.3	10.6	0.1
女性	582	409	89	83	1
	100.0	70.3	15.3	14.3	0.2
男性	514	402	79	33	0
	100.0	78.2	15.4	6.4	0.0

(4) 家族構成

「二世世代世帯（自分と子ども）」が最も多く、29.6%を占めている。次いで、「夫婦のみ」世帯（27.7%）が多い。

また、年齢別にみると、20歳代は「二世世代世帯（自分と親）」、30歳代から50歳代までは「二世世代世帯（自分と子ども）」の割合が高い。また、60歳代および70歳代以上では「夫婦のみ」世帯の占める割合が高くなっている。

図表1-4 家族構成

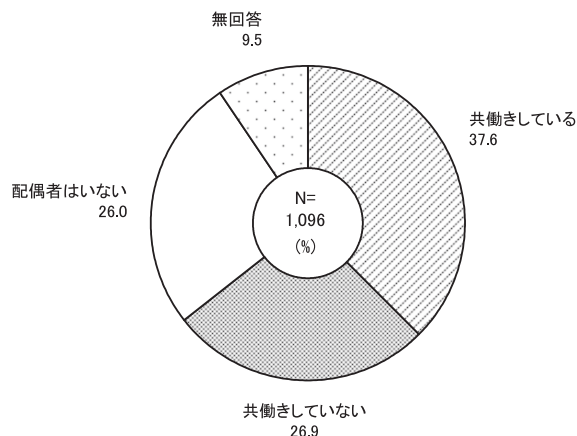


上段:度数 下段:%	合計	単身 (一人 世帯)	夫婦 のみ	二世 代世 帯 (自分 と親)	二世 代世 帯 (自分 と子 ども)	三世 代世 帯 (自分 と子 ども と孫)	三世 代世 帯 (親と 自分 と子 ども)	三世 代世 帯 (祖父 母と 親と 自分)	その他	無回答
合計	1096 100.0	112 10.2	304 27.7	146 13.3	324 29.6	55 5.0	91 8.3	19 1.7	37 3.4	8 0.7
女性 計	582 100.0	75 12.9	151 25.9	83 14.3	162 27.8	31 5.3	41 7.0	8 1.4	25 4.3	6 1.0
20歳代女性	56 100.0	6 10.7	3 5.4	26 46.4	9 16.1	0 0.0	3 5.4	6 10.7	3 5.4	0 0.0
30歳代女性	80 100.0	11 13.8	9 11.3	14 17.5	38 47.5	0 0.0	4 5.0	0 0.0	3 3.8	1 1.3
40歳代女性	122 100.0	9 7.4	11 9.0	18 14.8	58 47.5	1 0.8	18 14.8	2 1.6	5 4.1	0 0.0
50歳代女性	120 100.0	11 9.2	32 26.7	15 12.5	34 28.3	9 7.5	11 9.2	0 0.0	6 5.0	2 1.7
60歳代女性	122 100.0	16 13.1	66 54.1	9 7.4	13 10.7	5 4.1	5 4.1	0 0.0	6 4.9	2 1.6
70歳代以上女性	82 100.0	22 26.8	30 36.6	1 1.2	10 12.2	16 19.5	0 0.0	0 0.0	2 2.4	1 1.2
男性 計	514 100.0	37 7.2	153 29.8	63 12.3	162 31.5	24 4.7	50 9.7	11 2.1	12 2.3	2 0.4
20歳代男性	42 100.0	8 19.0	5 11.9	17 40.5	5 11.9	0 0.0	0 0.0	5 11.9	2 4.8	0 0.0
30歳代男性	67 100.0	4 6.0	2 3.0	23 34.3	27 40.3	0 0.0	6 9.0	3 4.5	1 1.5	1 1.5
40歳代男性	79 100.0	7 8.9	6 7.6	4 5.1	38 48.1	0 0.0	19 24.1	3 3.8	2 2.5	0 0.0
50歳代男性	126 100.0	3 2.4	34 27.0	12 9.5	48 38.1	4 3.2	23 18.3	0 0.0	2 1.6	0 0.0
60歳代男性	114 100.0	3 2.6	66 57.9	6 5.3	23 20.2	11 9.6	2 1.8	0 0.0	2 1.8	1 0.9
70歳代以上男性	86 100.0	12 14.0	40 46.5	1 1.2	21 24.4	9 10.5	0 0.0	0 0.0	3 3.5	0 0.0

(5) 共働きの状況

「共働きしている」者は、約4割（37.6%）となっている。

図表1-5 共働きの状況



上段:度数 下段:%	合計	共働きして いる	共働きして いない	配偶者はい ない	無回答
合計	1096 100.0	412 37.6	295 26.9	285 26.0	104 9.5
女性	582 100.0	207 35.6	146 25.1	173 29.7	56 9.6
男性	514 100.0	205 39.9	149 29.0	112 21.8	48 9.3

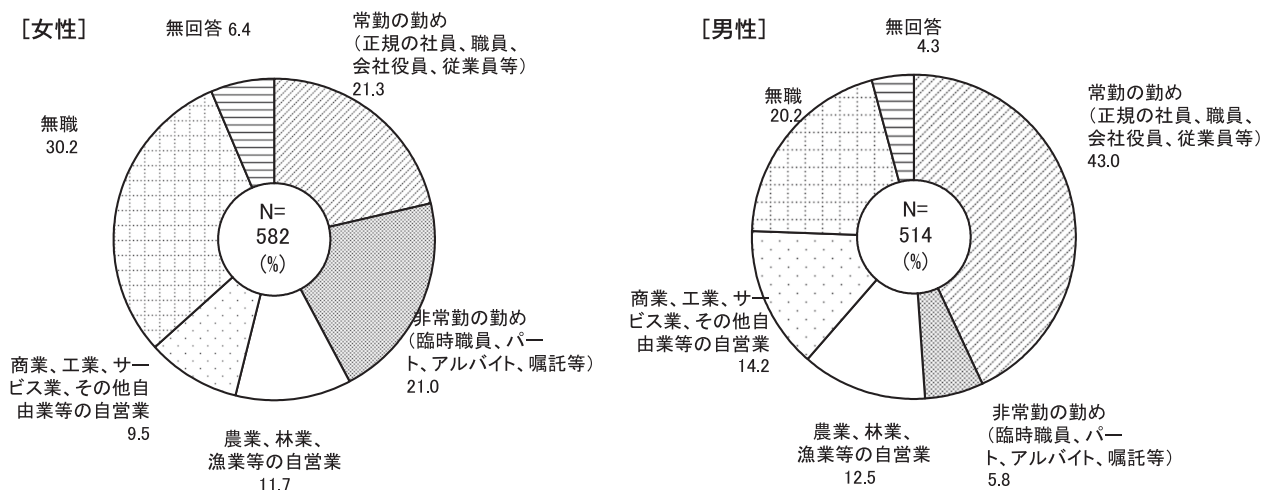
注)「配偶者はいない」は、「(3)婚姻の有無」において「結婚していない」「離・死別した」「無回答」と回答した数を合計したもの。

(6) 就業状況

女性の場合、「無職」が30.2%と最も多く、次いで「常勤の勤め」(21.3%)、「非常勤の勤め」(21.0%)の順となっている。有職者は63.5%を占める。

男性の場合、「常勤の勤め」が最も多く、43.0%と半数近くを占めている。有職者は75.5%と8割弱の割合となっている。

図表1-6 就業状況



上段:度数 下段:%	合計	常勤の勤め (正規の社員、職員、 会社役員、従業員等)	非常勤の勤め (臨時職員、パート、 アルバイト、嘱託等)	農業、林業、 漁業等の自営業	商業、工業、 サービス業、 その他自由 業等の自営業	無職	無回答
合計	1096	345	152	132	128	280	59
	100.0	31.5	13.9	12.0	11.7	25.5	5.4
女性	582	124	122	68	55	176	37
	100.0	21.3	21.0	11.7	9.5	30.2	6.4
男性	514	221	30	64	73	104	22
	100.0	43.0	5.8	12.5	14.2	20.2	4.3

(7) 居住地

平成17年9月調査時点の数値を掲載した（平成18年1～3月に市町村合併が行われた）。

上段:度数 下段:%	合計	宮崎市 ※1)	都城市 ※2)	延岡市 ※4)	日南市	小林市 ※6)	日向市 ※5)	串間市	西都市
合計	1096 100.0	284 25.9	108 9.9	113 10.3	44 4.0	36 3.3	55 5.0	18 1.6	31 2.8
女性	582 100.0	153 26.3	64 11.0	62 10.7	22 3.8	14 2.4	28 4.8	10 1.7	16 2.7
男性	514 100.0	131 25.5	44 8.6	51 9.9	22 4.3	22 4.3	27 5.3	8 1.6	15 2.9

上段:度数 下段:%	えびの市	清武町	田野町 ※1)	佐土原町 ※1)	北郷町	南郷町	三股町	山之口町 ※2)	高城町 ※2)
合計	21 1.9	21 1.9	8 0.7	37 3.4	5 0.5	8 0.7	20 1.8	8 0.7	12 1.1
女性	12 2.1	11 1.9	5 0.9	18 3.1	2 0.3	5 0.9	7 1.2	3 0.5	7 1.2
男性	9 1.8	10 1.9	3 0.6	19 3.7	3 0.6	3 0.6	13 2.5	5 1.0	5 1.0

上段:度数 下段:%	山田町 ※2)	高崎町 ※2)	高原町	野尻町	須木村 ※6)	高岡町 ※1)	国富町	綾町	高鍋町
合計	9 0.8	12 1.1	12 1.1	12 1.1	4 0.4	10 0.9	20 1.8	8 0.7	21 1.9
女性	5 0.9	11 1.9	7 1.2	5 0.9	2 0.3	9 1.5	8 1.4	6 1.0	8 1.4
男性	4 0.8	1 0.2	5 1.0	7 1.4	2 0.4	1 0.2	12 2.3	2 0.4	13 2.5

上段:度数 下段:%	新富町	西米良村	木城町	川南町	都農町	門川町	東郷町 ※5)	南郷村 ※3)	西郷村 ※3)
合計	17 1.6	4 0.4	15 1.4	22 2.0	12 1.1	23 2.1	2 0.2	3 0.3	7 0.6
女性	8 1.4	2 0.3	6 1.0	11 1.9	8 1.4	10 1.7	2 0.3	1 0.2	4 0.7
男性	9 1.8	2 0.4	9 1.8	11 2.1	4 0.8	13 2.5	0 0.0	2 0.4	3 0.6

上段:度数 下段:%	北郷村 ※3)	北方町 ※4)	北川町	北浦町 ※4)	諸塚村	椎葉村	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	無回答
合計	2 0.2	4 0.4	3 0.3	1 0.1	3 0.3	5 0.5	20 1.8	6 0.5	8 0.7	2 0.2
女性	2 0.3	3 0.5	0 0.0	1 0.2	2 0.3	2 0.3	13 2.2	3 0.5	3 0.5	1 0.2
男性	0 0.0	1 0.2	3 0.6	0 0.0	1 0.2	3 0.6	7 1.4	3 0.6	5 1.0	1 0.2

※1) 平成18年1月1日合併…宮崎市
 ※2) " …都城市
 ※3) " …美郷町

※4) 平成18年2月20日合併…延岡市
 ※5) 平成18年2月25日合併…日向市
 ※6) 平成18年3月20日合併…小林市